

第9回シニア女性映画祭・大阪 2020 Senior Women's Film Festival in Osaka

# ♀ウーマン・リブ 50周年記念♀

# 「彼女たちがいたから。」

## 2020. 11.14(土) - 15(日)

### すてっぷホール(定員77人)

とよなか男女共同参画推進センターすてっぷ  
エトレ豊中5F(阪急宝塚線豊中駅下車すぐ)



「主婦のタンゴ」



「ホリーニア：私たちの人生のために歌う」



「女たちは元気です」

主催：「波をつくる女たち」シスターウェーブス

Blog : [sisterwave.exblog.jp](http://sisterwave.exblog.jp) <http://sister-waves.fem.jp>

協力：フリークの女たちの会

◆チケット 各プログラム 前売り800円/当日1000円(入れ替え制)  
各1日通し券 1300円/2日通し券 2300円  
(高校生以下・80歳以上・車いす利用者、介護者は無料)

◆前売り予約 : [sister-waves@qc.fem.jp](mailto:sister-waves@qc.fem.jp)  
携帯：090-2700-4557

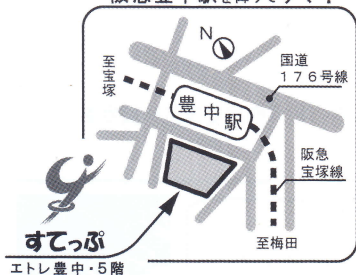
協賛：とよなか男女共同参画推進センターすてっぷ

(指定管理者 一般財団法人とよなか男女共同参画推進財団)

保育あり(先着5人、有料、要・事前申込(メ切 11/6 金) 連絡先：シニア女性映画祭まで)

\*コロナウイルス感染症の状況により映画祭を中止する場合があります。事前にブログでご確認下さい。

阪急豊中駅を降りてすぐ!



sisterwaves

11/14(土) 10:00 開場

## 「主婦のタンゴ」

監督 出光真子

ビデオ/13分/1978/日本

食事を作り、皿を洗い、泣く子をあやす。毎日毎日、掃除、洗濯、家事、育児。一息つく間もない。わたしの人生一体なんなの？ヨネヤママコが「カルメン」の曲にのせて表現するパントマイム。

1976年「魔女コンサート」で上演され、おんなたちから大喝采を受ける。出光真子が映像で表現。



【監督紹介】

1960年代、アメリカに在中に16mmフィルムで映像を作りはじめ、'73年帰国。80年代からビデオで家父長制に抑圧される女性を描いた数々の作品は国際的評価を受ける。

## 「女たちは元気です! 82優生保護法改悪阻止の記録」

監督 山上千恵子

ドキュメンタリー/38分/1982/日本

制作協力: とらねずみ(佐々木元子・岩月澄江)

企画: 82 優生保護法改悪阻止連絡会

♥監督トーク 山上千恵子さん



1982年、国は経済的に豊かになったという理由で、優生保護法の中絶許可条項から経済的理由による中絶を削除する法案を国会に上程。これに対し優生保護法改悪阻止、墮胎罪撤廃! 産む産まないは女が決める! と声をあげた女たちの活動の記録。本当に欲しいものを獲得するためには女たちはいつでも元気だ! (優生保護法は1996年、母体保護法と改名)

【監督紹介】

'80年代からビデオを撮り始める。2002年に<女たちの歴史プロジェクト>を設立。メディアで取り上げられない女性運動・歴史・文化などを女性の視点で描く作品を制作している。

11/14(土) 13:30 開場

## 「マゾとミゾは船で行く」

監督 キャロル・ホソプロス他3人

ビデオ/55分/1976/フランス(日本語字幕)

♥ゲストトーク 園山水郷さん

日本初上映!



1975年国際女性年の年末のテレビ番組に答える形で制作された作品。当時の女性担当大臣フランソワーズ・ジルーが司会者や男性陣に女性蔑視的(ミゾ)な発言を繰り返される。ジルーや男たちの反応を批判し、キャロル・ホソプロスら4人の女たちは、ビデオの特性を生かし、風刺をきかせユーモアある作品を作った。

(映像提供: Centre Audiovisuel Simone de Beauvoir)

【主監督紹介】

キャロル・ホソプロス (1945 ~ 2009)

スイス生まれ。フランスで活躍。『ヴォーグ』の失業退職金で発売されたばかりのソニーのビデオカメラを買う。フランスで二人目だった。ビデオの特性を活かしてフェミニストの視点で、ドキュメンタリーなど80本以上撮る。女たちにビデオの指導もした。

## 「交流会~リブ50周年を祝う」

2020年11月14日(土) 17:00 ~ 19:00

場所: ホテルアイボリー(徒歩5分)

会費: 3500円(食事付)

要申込(20人・先着順) 090-2700-4557

予約締切: 11月7日(土)

11/15(日) 10:00 開場

## 「明日へ紡ぎつづけて」

監督 山本洋子

ドキュメンタリー/94分/2009/日本

♥監督トーク 山本洋子さん

戦後、主要産業のひとつとして経済成長を支えた繊維産業。

そこでは少女労働者に対する低賃金・長時間労働が当たり前のように強いられていた。

しかし彼女たちは学習を積み上げ、仲間を広げながら組合を作り会社と渡り合いました。50年前の闘いを今日に紡ぐ人々。今こそ観てほしい映画です。



【監督紹介】

戦争に加担しない、弱者の目線のみ、時の政府には常に懐疑の目を。この三つを座標軸に監督や脚本を手がける。「東京大空襲」「軍隊をすてた国」他。

11/15(日) 14:00 開場

## 「ホリー・ニア: 私たちの人生のために歌う」



日本初上映!

監督 ジム・ブラウン

ドキュメンタリー/62分/2019/アメリカ(日本語字幕)

♥トーク 三木草子さん

映画の中でグロリア・スタインムは「ホリーによって初めて運動の音楽を体験した。強い衝撃を受けた」と語っている。ジェーン・フォンドのベトナム反戦ショーに参加してフェミニズムと平和運動に出会い、それ以後、問題に直面するたびに自ら考え、思想を広げ、女性の視点から被抑圧者の解放のために歌ってきたホリー・ニア50年の音楽活動の軌跡。

【監督紹介】

社会派音楽家のドキュメンタリーを数多く手がけている。

ピート・シーガーの作品のほか、セサミストリートなど計4作品でエミー賞受賞。

・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、手指の消毒とマスクの着用および体温測定のご協力をお願いします。  
・提供された個人情報は(運営や募集案内の目的においてのみ使用するほか)感染拡大予防のため、必要に応じて保健所等の公的機関へ提出しますが、他の目的には一切使用しません。

